

(令和6年度)  
自己評価書

園番号	園名
603	済美幼稚園

603済美幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の実態に即した教育目標を設定する。</li> <li>教育計画、教育課程を職員で意見を出し合い編成する。</li> <li>保護者アンケートや評議員評価を基に、教育評価を行い、次年度に活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の実態を把握し教育目標をたて、職員間で意見を出し合いながら保育計画を立てることができた。</li> <li>園での取り組みを保護者や地域の方、評議員等に伝えたことで、評議員から感想やアンケートの結果から、肯定的な感想や評価をいただき、保育や園運営に活かすことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育目標や園児の実態に照らし合わせた計画を、常に職員間で話し合い実践したことで、丁寧に取り組みことができた。</li> <li>園評価アンケートなどから、園の取り組みを理解していただき、園児が毎日幼稚園が楽しみと感じており、肯定的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も、子どもの実態に即した教育目標、教育計画、教育課程を作成し、内容の検討をしていく。</li> <li>教育目標や園児の姿をより具体的にHP、でいあシートなどで示し、幼稚園教育の理解に繋げたい。</li> </ul>
		② 教育・保育計画の作成					
		③ 教育課程/全体的な計画の編成					
		④ 教育・保育活動の評価					
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良市立こども園カリキュラムバンビーノプランに基づき、指導計画を立案する。</li> <li>研修や毎月の会議、週末の振り返りにおいて、保育内容の精選や指導方法の工夫を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の会議や週末の振り返りなどで、育みたい力や目標を念頭に、幼児の実態に合わせた保育内容の検討を行った。</li> <li>園内公開保育を実施し、外部評価から課題を見つけ、指導方法の工夫に繋がった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>バンビーノプランに照らし合わせながら、園児の実態に合わせた保育内容の創意工夫を行うことができた。</li> <li>研修からの学びを実践に活貸すことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の質の向上を目指し、指導方法の工夫や改善を図り、翌日の保育に活かす。</li> <li>園内研修や積極的な研修参加に努める。</li> </ul>
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 評価					
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や保護者と連携した済美ならではの特色ある園行事の取り組み。</li> <li>保幼小連携や体力向上をねらいとした活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方と計画的に連携をもつことができた。多くの人との関わりや地域の様子を知ることが、豊かな心を育む機会になった。</li> <li>保幼少の連携では、職員間の連携を多く持ち、前年よりも多く交流を図ることができた。</li> <li>子ども達が主体的に取り組めるよう、内容等を共に考えた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの行事にも園児が意欲的に取り組み楽しめるものになった。</li> <li>地域への園外保育では園児が文化財や由来等に関心を持ち、また地域の方とも親しみをもち、自ら関わろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>済美ならではの地域との結びつきや関わりを大切に活かし、自分の住む町に誇りを持てる取り組みを今後も計画したい。</li> <li>行事に追われたり、行事中心の保育にならないよう、内容の精選に努める。</li> </ul>
		② 行事内容の精選					
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人を大切にしたい、支え合えるなかまづくりのための指導内容を工夫する。</li> <li>研修等に参加し、保育者自身の人権意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が自分を表現でき、友達と共に遊びを進め、互いに認め合い助け合える取り組みを心がけた。</li> <li>子ども達の間で生じた問題や大人が感じた課題を職員間で話し合いながら、問題解決に取り組んだ。</li> <li>職員間で話し合いし、人権意識の向上に取り組んだ。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の中での些細なことでも、自分の思いを伝えたりや相手の気持ちを考えたりする機会としてとらえ、子ども達と話し合い、職員間でも共有した。</li> <li>職員間で人権教育について、話し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級懇談会等で、園の思いや取り組みを話し啓発していきたい。</li> <li>問題意識や人権意識をしっかり持ち職員員の力量向上を図りたい。</li> </ul>
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告・連絡・相談を大切にしながら進める</li> <li>情報把握を大切に幼児理解に努める</li> <li>保護者との連絡を密にしていく</li> <li>健全な育成のために、関係機関との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で常に共通理解をすることで、臨機応変に対応できた。</li> <li>園児の実態に合わせた指導を常に心掛け、些細なことでも家庭への連絡を密にした。</li> <li>地域との連携を図り、見守りをいただいている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で共通理解できるよう連携を密にし、臨機応変に対応できた。</li> <li>保護者の立場や気持ちを考えながら保護者対応を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者の思いに寄り添いながら、柔軟に対応出来る子育て支援の力量を高めていく。</li> <li>保護者に安心してもらえるようこまめな声掛けを行うと共に、地域とも連携しながら多く目で見守れるようにする。</li> </ul>
		② 教育相談・幼児理解					
		③ 家庭との連携					
		④ 関係諸機関との連携					
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>対処方針や指導計画が明確である</li> <li>日頃より実態把握・早期発見に努めている</li> <li>各学級の状況を園組織として共有できている</li> <li>保護者や地域と連携できている</li> <li>組織的に迅速に対応する体制が整備されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保育の中での出来事を職員間で話し合える時間を確保し、連絡を密にするよう努めてきたことで、園全体で幼児を育てる体制づくりはできている。</li> <li>保護者の思いに寄り添ったり、地域と情報交換することで、連携がとれている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>気になる言動を敏速にとらえ、一人一人の内面や思いを探り寄り添いながら、解決に向け個別やクラスで話し合いを行った。</li> <li>連絡を密にし協力体制がとれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な問題を職員間で共通理解し、仲間意識が育つような保育内容や教材研究を行う。</li> <li>保護者にこまめに伝え連携を密にすることで、迅速に対応できるようにしていく。</li> </ul>
(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を要する幼児の実態を把握し、職員間で共通理解をし、支援の方法を共有する。</li> <li>特別支援研修や特別支援教育コーディネーターからの情報を基に個々に応じた指導法の検討や計画を立案する。</li> <li>家庭や関係機関との連携を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に園児の実態把握とこれからの支援の方法を話し合い共通理解した。</li> <li>研修やコーディネーターからの情報を基に具体的な支援方法を明らかに実践した。また、得た知識はその都度、共有を図った。</li> <li>保護者の思いを受け止めながら、支援方法の共有を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の発達に合わせたねらいや指導方法に努めた。</li> <li>支援員含め全職員で情報交換、共通理解が出来ていた。</li> <li>保護者の思いや幼児の実態を踏まえ、専門機関との連携がとれていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の願いを受け止めながら、個々の支援を要する幼児に適した支援計画を作成し、必要に応じて見直し改善、実施していく。</li> <li>研修や関係機関との連携から、支援教育力の向上を図る。</li> </ul>	
	② 個々に応じた特別支援教育の内容						
	③ 指導方法の工夫改善						
	④ 家庭との連携						
	⑤ 関係機関との連携						

(令和6年度)  
自己評価書

園番号	園名
603	済美幼稚園

603済美幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育ビジョンを職員間で共通理解する。</li> <li>・職員会議を計画的に実施し、共通理解を図り園運営を進める。</li> <li>・少ない人員でのコミュニケーションを図り、互いに協力し合う職員関係を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初にビジョンや方針を作成し、職員間で共通理解を図った。</li> <li>・報告、連絡、相談を確実に言い、定期的な会議や日々の保育の振り返りや幼児の様子等を話す機会を多く持ち話しやすい雰囲気作りを努めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で互いに意見を出し合いながら、協力し園運営を行ってきた。</li> <li>・担当する園務分掌を適切に進めることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の参画意識を高めるため、園のビジョンや教育方針に向け、職員が互いに意見を出し合い、助け合う協力体制が大切である。そのために、職員の特性を知り、活かし、良好な人間関係を作り、意思の疎通に努める。園長は、リーダーシップをとると共に、楽しい職場づくりとチームワーク作りを努めていきたい。</li> </ul>
		② 園経営目標・方針			A		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			B		
		④ 園務分掌等の連携			A		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			A		
		⑥ 会議の結果			B		
		⑦ 職場の人間関係			A		
⑧ 園評価の実施		A					
(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上をめざし、園内、園外の研修の機会を積極的にもつ。</li> <li>・研修ノートを活用し、保育の実践や振り返りを行う。</li> <li>・研修内容を職員間で報告し合い、共通認識を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修主題を中心に園内研修をしたり、日頃の振り返りや意見交換を行い、幼児理解や指導方法の向上に努めた。</li> <li>・園外研修にも多数回参加し、共通認識を行いながら、資質向上に努めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだことや意見交換したことを、職員間で共有し、幼児理解し指導方法の向上に努めた。</li> <li>・他園の公開保育に参加し、職員と共通理解しながら、保育実践で活かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修及び研修内容の伝達、共有する時間を努めて確保する。</li> <li>・職員一人一人が課題意識を持ち、主体的に研修に参加し、園全体の資質向上に努める。</li> </ul>	
	② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A			
	③ 園外の研修への積極的参加			A			
	④ 園外研修内容の共有			B			
	⑤ 研修成果の普及			A			
(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルや防災計画を全職員で見直し確認し、危機管理意識を高める。</li> <li>・地域、保護者との連携を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアル、防災計画を職員間で見直した。</li> <li>・毎月の避難訓練では、その時の社会事象に合わせ、訓練内容も臨機応変に変更し、より安全に避難できるよう話し合い確認した。</li> <li>・地域の女性防災の方と連携しながら、幼児の安全指導を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を様々な形態で行い、職員間で共通理解しながら適切に行った。</li> <li>・地域、保護者と連携し、避難、防災意識を高めた。</li> <li>・叱咤の時の自分の役割を定期的に確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が常に危機管理意識を持ち、幼児の安全確保に努め、幼児自身も自分の身を守る意識できるよう指導していく。</li> <li>・さらに、地域・保護者と連携し意識向上につなげる。</li> </ul>	
	② 防災計画の立案			A			
	③ 危機管理体制の整備			B			
	④ 安全指導の工夫改善			A			
	⑤ 家庭との連携			B			
	⑥ 関係機関との連携			A			
(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で安全な生活に必要な習慣が身につくよう日々の指導や家庭との連携を図る。</li> <li>・日々の健康管理や手洗い・うがい、換気、温湿度調節、衛生管理などの感染予防対策の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理や換気等を毎日行い、一時預かり担当者とも連絡を密にした。</li> <li>・幼児自身が、自ら進んで取り組めるよう環境の工夫や指導を行い、保護者にも啓発した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気、湿度調整など、感染症対策を行った。</li> <li>・幼児の体調や様子の把握に努め、幼児にも自ら進んで取り組めるよう、感染症対策の指導を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健管理の取り組みの啓発を重ね、保護者と共に幼児の健康に留意し、心身ともにたくましい幼児の育成に取り組みたい。</li> </ul>	
	② 心のケアや健康相談の体制の整備			B			
	③ 健康観察、健康管理能力の育成			A			
	④ 関係機関との連携			B			
	⑤ 昼食の衛生管理			A			
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の取り組み・行事・園児の様子を、クラスだより・園長だより・ホームページ等で啓発する。</li> <li>・地域・保幼小の連携を充実し交流を年間を通して計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPや園だより、園長だより等で園児の様子や情報発信に努めた。</li> <li>・地域の方にも積極的に関わっていただき、充実した交流を行うことができた。</li> <li>・保幼小交流を計画的に対面で実施でき、児童・園児・教師との関わりをもち、小学校の中や取り組みを知ることができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPや園だより等で、園の取り組みをわかりやすく啓発できている。</li> <li>・保幼小間で計画をたて、実施に向け定期的に話し合いを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や子どもの様子だけでなく、園としての思いやねらいを伝えられるように、啓発内容を更に工夫し、教育理解に繋げる。</li> <li>・地域や保幼小との連携を密にし、幼児の豊かな経験と成長に繋がるようにする。</li> </ul>	
	② 園(保育)公開			A			
	③ 小学校との接続・連携			A			
	④ こ幼保との連携			B			
	⑤ P T A・保護者会の活性化			B			
	⑥ 地域教育協議会との連携			B			
	⑦ 学校関係者評価の実施			A			
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な施設・遊具の点検と適切な整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所は見つけ次第園長に報告し、整備したり、修繕依頼を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・遊具の安全点検を行い、安全を確保できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期点検を行い、危険箇所は速やかに整備し、修理不可能な箇所は市に連絡し修繕依頼する。</li> </ul>	
	② 施設設備の有効利用			A			
	③ 施設設備の管理			A			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱や、データの管理・保護に十分留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報、データ管理について留意点や保管方法等、全職員で確認した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や定期的に管理方法を確認し合い、習慣として身につけてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に共通理解を行い、全職員が責任を持ち、個人情報・データの管理意識を徹底していく。</li> </ul>	
	② 公文書の作成			B			
	③ 個人情報の管理・保護			A			
	④ 情報の収集			B			
	⑤ 電子媒体の管理						